

## 若い世代からの口腔ケア推進事業

## 1 事業の目的

歯科口腔保健の課題である歯周病（歯肉炎を含む）は、法定の歯科検診制度が整備されていない成人期以降より増加する傾向があることから、若い世代が自ら定期的に口腔管理を行う習慣を獲得することが重要である。このことを踏まえて、若い世代から生涯良好な口腔環境を維持することにつなげるための事業を実施する。

## 2 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

## (1) 生活習慣の調査および歯科検診の実施

県内の複数の大学の学生 1,200 名を対象に、歯科医師による口腔診査および歯科保健に関連する生活習慣アンケート調査の実施。

## (2) 出前講座の実施

歯科医師が直接、大学等に出向き、歯周病予防についての講義・実技指導（ブラッシング含）を実施する。予定施設は（1）の調査及び歯科検診の実施大学。

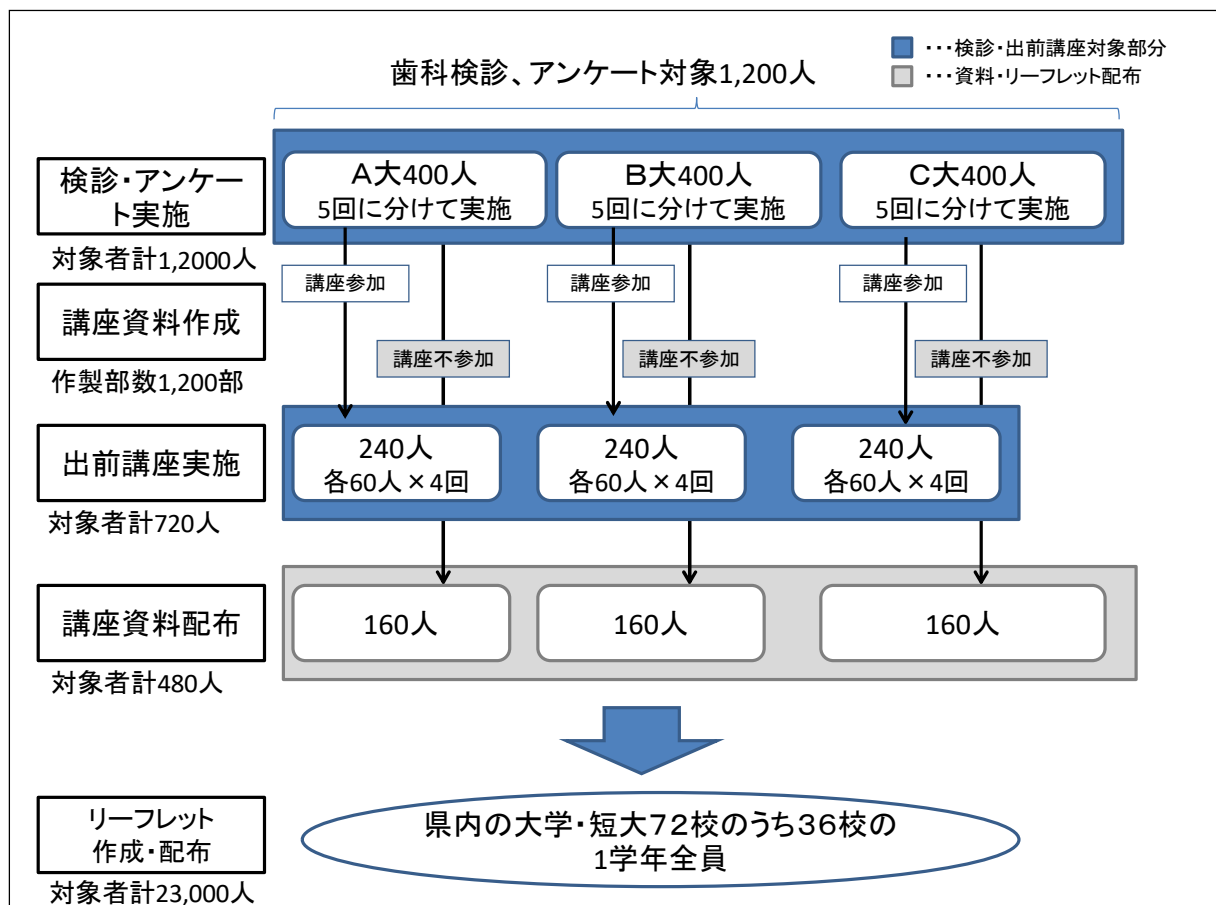
## (3) 口腔ケア推進会議の開催（3回開催）

調査結果から課題・問題点の分析、解決策及び出前講座内容の検討、事業報告の検討。

## (4) リーフレット等の作成・配布

リーフレット：県内の大学・短大 72 校のうち希望のあった大学の 1 学年全員

報告書：保健所等



(愛知県歯科医師会提供資料)

### 1. 生活習慣の調査および歯科検診の実施

名古屋・尾張・三河地域の下記大学の学生を対象に、歯科医師による口腔診査および歯科保健に関連する生活習慣アンケート調査を実施した。

大学名	所在地	日 時	人数	日数	回数
豊橋技術科学大学	豊 橋 市	4 月 4 日 (火) 午前・午後	490 名	2 日	4 回
		4 月 6 日 (木) 午前・午後			
金 城 学 院 大 学	守 山 区	4 月 5 日 (水) 午前・午後	345 名	1 日	2 回
名 古 屋 学 芸 大 学	日 進 市	4 月 5 日 (水) 午 後	648 名	1 日	1 回
計			1,483 名	4 日	7 回

### 2. 出前講座の実施

歯科検診を実施した大学の学生に対し、口腔ケアの重要性を若い世代に啓発するため、歯科医師が、直接大学に出向いて、調査結果を踏まえた歯周病予防をテーマとした講義を実施した。

大学名	所在地	日 時	人数	日数	回数
豊橋技術科学大学	豊 橋 市	9月21日(木) 午後	40 名	1 日	1 回
金 城 学 院 大 学	守 山 区	1月 18 日 (木) 午後	90 名	1 日	1 回
名 古 屋 学 芸 大 学	日 進 市	10月 12 日 (木) 午後	50 名	1 日	1 回
計			180 名	3 日	3 回

### 3. 口腔ケア推進会議の開催

第 1 回 口腔ケア推進会議 平成 29 年 9 月 8 日 (木) 10:00  
愛知県歯科医師会館

### 4. 啓発資料の作成及び配布

生活習慣・歯科検診の調査結果を踏まえ、若い世代の口腔ケアのため、啓発資料 (リーフレット) を作成し県内の大学及び短大の学生に配布した。

## 成人期口腔ケア推進事業費

## 1 目 的

高齢期における良好な歯科口腔状態の保持に向けた対策推進のため、成人期の歯科口腔状況等について実態調査を行い、結果を元に「愛知県歯科口腔保健基本計画（平成 25 年 3 月策定）」の中間評価や歯周病に関する数値目標の改定に活用するとともに、「口腔保健支援センター」が実施する研修会や啓発活動のための資料として活用する。

## 2 調査対象者

18～65歳 9,600人

各年齢の調査数：約200人（男性100人、女性100人）

## 3 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

（1）協力を得られる事業所において、従業員に無料券を配布し、事業所や自宅から最寄り受診しやすい歯科診療所で、歯科検診及びアンケート調査を行う。

①歯科医師による口腔診査（う蝕、歯周病の状況、口腔機能等）

②口の健康に関する生活習慣及び意識調査

（2）調査結果の分析

（3）報告書等の作成

協力事業所等向けの分析結果の還元及び啓発のための資料の作成、配布

## 4 協 力

全国健康保険協会 愛知支部

## 5 実施期間

平成28年2月から平成30年3月まで（2年2か月）

	18	22	40	65	75（年齢）
学 生	若い世代の口腔ケア推進事業				
労働者	← 調査対象 →				
市町村住民 （農家、自営業が主）	歯周疾患検診事業				

## 【参考 平成28年度実績】

	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～65歳	計
男性	67	777	1,177	1,421	1,007	652	5,101
女性	174	1,170	1,213	1,662	1,369	656	6,244
計	241	1,947	2,390	3,083	2,376	1,308	11,345



## 障害者（児）歯科口腔保健推進研修事業

### 1 事業の目的

歯科関係者が障害者の口腔ケアに関する研修会を受けることで、口腔ケアサポートマニュアル（平成26年度作成）の活用を促し、すべての歯科診療所で軽度の障害者（児）が定期的な歯科検診及び歯科保健指導が受けられる口腔ケアサポート体制を構築する。

### 2 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

#### （1）研修企画会議 2回

研修及び研修補助教材の内容の検討

#### （2）研修会の開催

対 象： 歯科医師 100人×3回（計300人）

内 容： 障害者の口腔保健の基本  
定期的口腔ケアへの導入法など

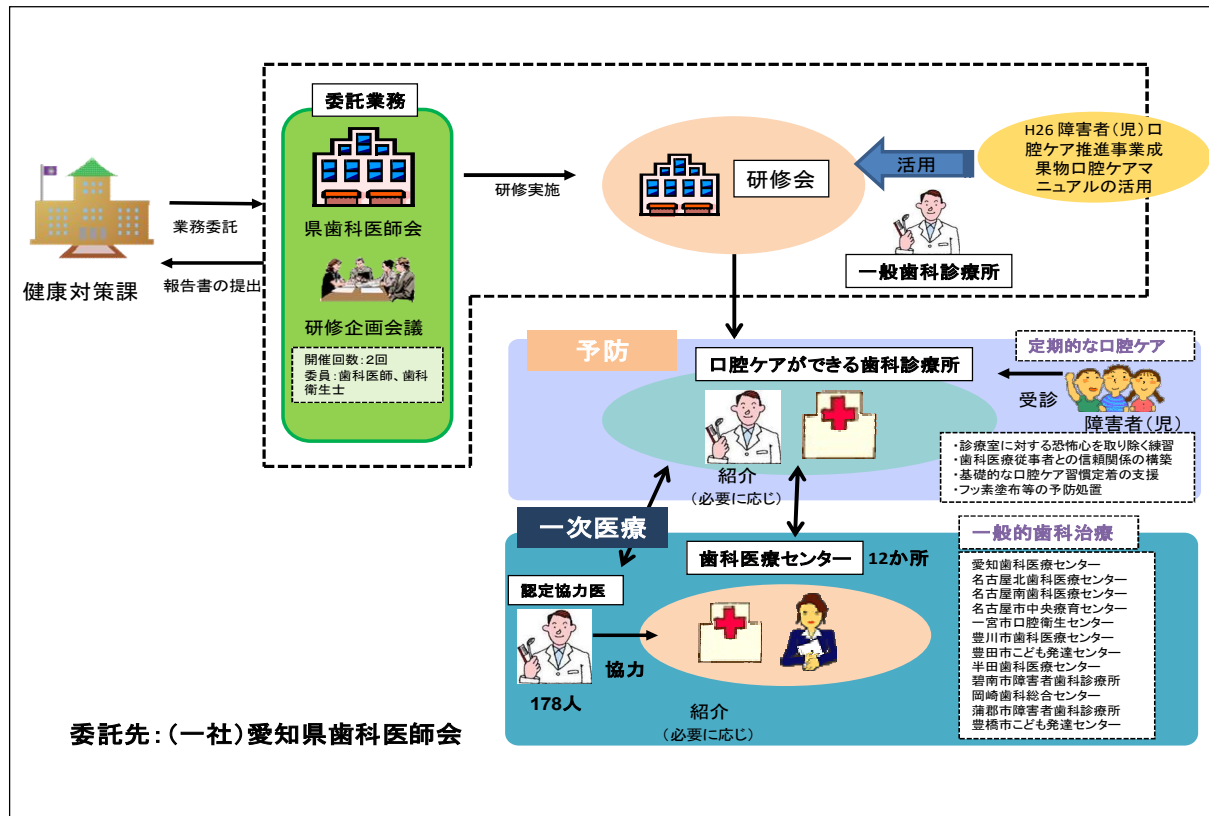
#### （3）研修補助教材の作成

作成数： 4,000部

配布先： 歯科診療所、市町村、保健所等

#### <口腔ケアサポートマニュアル>

すべての歯科医療関係者が障害者（児）の口腔ケアサポートに取り組める体制づくりを進めるために歯科医療関係者が障害状況に応じた口腔ケアが行えるよう、サポートするためのマニュアル。



## (愛知県歯科医師会提供資料)

### 1. 研修会の開催

平成26年度の障害者(児)歯科口腔保健推進事業において作成した「口腔ケアサポートマニュアル」をより広く歯科医師に普及させ、全ての歯科医療関係者が障がい者(児)の口腔ケアサポートに取り組める体制づくりを目的とした研修会を開催した。

#### ① 日時：平成29年9月7日(木)

場所：愛知県歯科医師会館2階「歯〜とぴあホール」

講師：地域保健部Ⅱ次長 小島 広臣

参加：130名

#### ② 日時：平成29年11月2日(木)

場所：昭和区歯科医師会例会会場

講師：地域保健部Ⅱ部長 森 幹太

参加：81名

#### ③ 日時：平成29年11月25日(土)

場所：尾北歯科医師会例会会場

講師：地域保健部Ⅱ次長 富田 健嗣

参加：87名

### 2. 研修補助教材の作成

平成26年度に作成した「口腔ケアサポートマニュアル」の改訂版を作成し、配布予定。

#### ●教材内容



## 在宅歯科医療従事者研修事業

### 1 事業の目的

地域包括ケアシステムの構築及び平成30年度からすべての市町村で予定されている地域支援事業の実施に向け、本研修受講者（歯科医師及び歯科衛生士）が地域包括ケアシステムを熟知し、多職種連携を踏まえた、地域で在宅歯科医療の普及を担う核となる歯科医師及び歯科衛生士を育成することを目的とする。

### 2 事業の概要（委託先：一般社団法人愛知県歯科医師会）

在宅歯科医療を推進する歯科診療所を増やすため、在宅療養支援歯科診療所を始め、地域の在宅歯科医療を担っている歯科医師及び歯科衛生士を対象とした研修会を実施する。研修は2年間実施し、県内全域に今後の在宅歯科診療の核となる歯科医師を配置できるよう研修を実施する。

### 3 事業実施期間

平成28年度から平成29年度まで（2年間）

### 4 事業の内容

#### （1）在宅歯科医療従事者研修会

在宅歯科医療に係る知識・技術向上のための研修及び地域包括ケア、多職種連携等に係る研修

##### ア 受講者数

30組60人（歯科医師、歯科衛生士のペア）を実施

##### イ 研修内容

講義：年3回 在宅歯科医療法制度関係、地域包括ケアシステム関係  
在宅歯科医療技術関係

実習：各組1回 高齢福祉施設等での在宅歯科医療実習

#### （2）研修会用テキスト作成

#### （3）研修会打合せ会議：2回（研修内容の確認及び研修講師の検討等）

#### （4）研修受講者による地域における伝達講習

(愛知県歯科医師会提供資料)

## 1. 在宅歯科診療推進研修会の実施

講義および実習を歯科医師と歯科衛生士のペアで実施した。

年 度	受 講 者	講 義 日 時	実 習 期 間
平成 28 年度	15 組 30 人	平成 28 年 12 月 8 日 (木) 13 時～17 時	平成 29 年 1 月～2 月 各組 1 回
平成 29 年度	31 組 62 人	平成 29 年 9 月 14 日 (木) 13 時～17 時 (18 組) 平成 29 年 10 月 12 日 (木) 13 時～17 時 (13 組)	平成 29 年 9 月～12 月 各組 1 回

### 【講義】

「在宅歯科医療の法制度について」

愛知学院大学歯学部在宅歯科医療学寄附講座特任准教授 杉本太造

「在宅歯科医療における地域連携制度」

愛知学院大学歯学部在宅歯科医療学寄附講座非常勤講師 藤田尚臣

「在宅高齢者を診る上で必要な知識」

平成 28 年度 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター歯科口腔外科 大野友久

平成 29 年度 愛知県歯科医師会地域保健部Ⅱ次長 富田健嗣

### 【実習】

高齢者福祉施設等で在宅歯科医療実習を実施

平成 28 年度 12 施設において実施

平成 29 年度 27 施設において実施

## 2. 伝達講習の実施

平成 28 年度および 29 年度在宅歯科医療推進研修会の受講者が、各郡市区歯科医師会において平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月 (予定) 伝達講習を実施した。

年 度	名古屋	尾 張	三 河	合 計
平成 28 年度	2 地区	8 地区	5 地区	15 地区
平成 29 年度	12 地区	10 地区	7 地区	29 地区

(2018.1.17 現在)



## 在宅歯科医療普及研修事業

### 1 事業の目的

病院関係者が、口腔ケアの正しい知識・技術を習得し、誤嚥性肺炎予防につながる適切な口腔ケアの実践により入院期間の短縮をめざすとともに、退院後も切れ目なく地域の歯科診療所による口腔機能管理が実施できるよう、病院と歯科診療所の医療機能の分担及び連携を強化することにより、多職種連携の推進及び在宅歯科医療の普及を図る。

### 2 事業の概要 （委託先：一般社団法人愛知県歯科医師会）

患者へ適切な口腔機能管理を実施するための知識の習得、入院中から退院後にかけて病院と地域の歯科診療所との間で切れ目のない口腔機能管理の連携体制を構築するため、病院の多職種の医療従事者、地域の在宅歯科医療関係者を対象とした研修会を実施する。

### 3 事業実施期間

平成29年度から平成31年度まで（3年間）

### 4 事業内容

#### （1）在宅歯科医療普及研修会（12回）

病院と歯科診療所の連携による在宅歯科医療の普及・推進のための研修を行う。

##### ア 受講対象

1回あたり50人

病院関係者、歯科診療所の在宅歯科医療従事者（歯科医師、歯科衛生士等）

##### イ 研修内容

- ・病院関係者が行う正しい口腔ケアの知識・技術
- ・在宅歯科医療における専門的口腔ケアを含む口腔機能管理の現状と有効性
- ・病院と歯科診療所の連携の課題抽出と推進に向けたグループワーク

#### （2）研修企画会議（2回）

研修内容及びテキスト内容の検討、研修講師との打合せ

(愛知県歯科医師会提供資料)

## 1. 在宅歯科診療普及研修会の実施(12回)

病院と歯科診療所の連携による在宅歯科医療の普及・推進のための研修及び意見交換を行う。

医療圏	実施日	郡市区歯会	連携先	参加人数
名古屋	2/1(木)	西区	愛知県済生会リハビリテーション病院	50名
	2/27(火)	中区	名城病院	200名
	2/22(木)	昭和区	名古屋第二赤十字病院 聖霊病院 かなな病院	70名
	11/25(土)	港区	南陽病院	50名
	2/8(木)	熱田区	三菱名古屋病院	50名
	2/15(木)	中川区	坂文種報徳曾病院	60名
尾張西部	1/14(日)	一宮市	一宮市民病院	100名
尾張北部	2/22(木)	春日井市	春日井リハビリテーション病院	100名
西三河南部東	1/27(土)	岡崎	岡崎市民病院	100名
西三河南部西	2/15(木)	安城市	八千代病院	80名
	12/21(木)	西尾市	西尾市民病院	50名
東三河南部	1/30(火)	豊橋市	二川病院	50名

## 歯科衛生士在宅口腔ケア研修事業

### 1 事業の目的

多職種と連携した地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅歯科医療・介護に対応できる歯科衛生士の人材確保が望まれている。特に、高齢者の誤嚥性肺炎予防や口腔機能の維持向上には口腔ケアが有効であるとされている。これらに対応できる歯科衛生士の人材育成のための研修事業を実施する。

### 2 事業の概要 (委託先：公益社団法人愛知県歯科衛生士会)

地域包括ケアシステムを理解し、在宅歯科医療・介護分野において多職種と連携した口腔ケアが提供できる歯科衛生士の育成を図るための研修会を実施する。研修会は、県内5地域で開催し、各地域における人材育成を行う。

### 3 事業実施期間

平成29年度から平成30年度まで(2年間)

### 4 事業内容

#### (1) 在宅口腔ケア研修会(講義・実習)

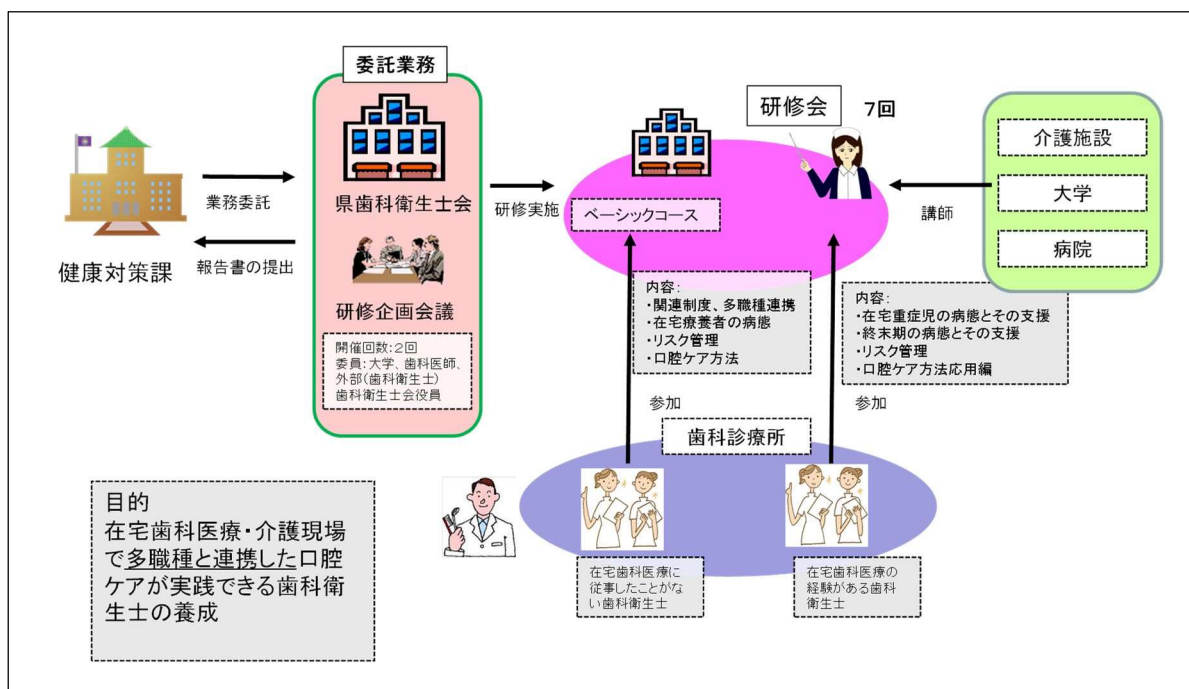
在宅歯科医療・介護分野における口腔ケアに関する知識・技術習得のための研修及び地域包括ケアシステム、多職種連携等に関する研修を実施する。

ア ベーシック研修(講義と演習) 1日コース5回(1回20名、計100名)

イ アドバンス研修(講義と演習) 1日コース2回(1回40名、計80名)

#### (2) 研修会打合せ会議 2回

研修内容及びテキスト内容の検討、研修講師との打合せ等



(愛知県歯科衛生士会提供資料)

## 1 研修内容

【ベーシックコース】…在宅歯科医療未経験・経験が少ない方、卒後間もない方対象。

- (1) 地域包括ケアシステムについて(10:00~10:25)  
講師 森下志穂 歯科衛生士 又は 小林由紀子 歯科衛生士
- (2) 症例を通してのグループワーク(10:25~12:35)  
講師 多賀仁美 歯科衛生士
- (3) バイタルサインの基礎(13:35~14:05)  
講師 竹下裕子 歯科衛生士
- (4) 口腔ケアの意義(14:05~14:25)  
講師 澄川佳世 歯科衛生士
- (5) 実習(14:35~15:55)

【アドバンスコース】…在宅歯科医療、口腔ケアの経験のある方対象。

- (1) 在宅療養者(重度)の病態・支援、多職種連携の実際、摂食嚥下機能について  
講義 40 分、事例検討 80 分(10:00~12:00)  
講師 小林由紀子 歯科衛生士  
講義 90 分 演習各 50 分 (13:00~17:00)
- (2) 口腔ケアの方法・吸引器の使用  
講師 渡邊理沙・竹下裕子・小林由紀子 歯科衛生士
- (3) 口腔機能評価、摂食嚥下訓練  
講師 澄川佳世・森下志穂 歯科衛生士
- (4) 食事支援  
講師 加知美穂子・犬塚聖子・多賀仁美 歯科衛生士

## 2 実施状況

【ベーシックコース】

月 日	会 場	受講者数
①10月22日(日)	愛知西支部(北名古屋市文化勤労会館)	23名(会員16、非7)
②11月5日(日)	名古屋支部(愛知県歯科医師会館)	28名(会員19、非9)
③11月19日(日)	名古屋支部(愛知県歯科医師会館)	27名(会員8、非19)
④1月21日(日)	尾張東部支部(東郷町民会館)	
⑤2月25日(日)	三河南部支部(刈谷市総合文化センター)	

【アドバンスコース】

月 日	会 場	受講者数
①12月3日(日)	名古屋医健スポーツ専門学校	37名(会員26、非11)
②2月12日(月祝)	名古屋医健スポーツ専門学校	未実施

【研修会打ち合わせ】

9月3日(日) 会場:名古屋医健スポーツ専門学校第2校舎 参加者7名  
内容:スケジュールと役割分担、指導案作成、アドバンス研修内容の検討

12月3日(日) 会場:名古屋医健スポーツ専門学校第2校舎 参加者8名  
内容:指導内容の再調整、研修評価、次年度のスケジュール

## 在宅療養支援歯科医養成推進事業

### 1 事業の目的

県内唯一の歯学部を持つ愛知学院大学において、在宅歯科医療に係る講義及び実習のカリキュラムを開発し、学生及び臨床研修医を教育することで地域包括ケアシステム及び在宅歯科医療に精通した人材を養成する。

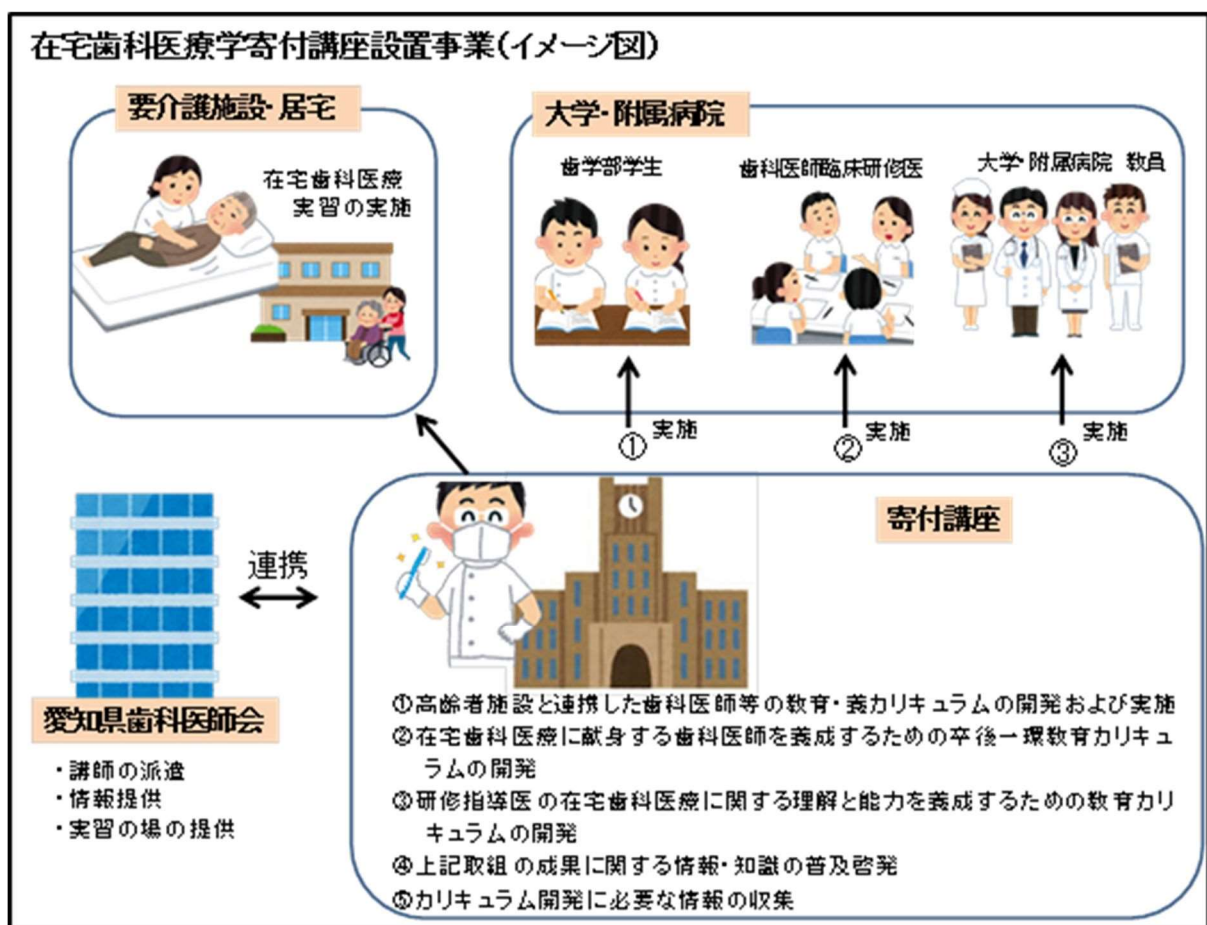
5年生、6年生及び臨床研修医に対する講義・実習等を通じ、事業実施期間（2年2か月）中に320人程度養成することで、在宅歯科医療に携わる歯科医師の目標数の確保を目指す。

### 2 事業の概要 （寄附先：愛知学院大学）

次の世代を担う全ての歯科医師等が地域包括ケアシステムを理解し、高齢者の特性等を踏まえた在宅歯科医療（口腔ケア含む）に取り組むため、愛知学院大学歯学部「在宅歯科医療学寄附講座」を開設する。

### 3 事業実施期間

平成28年2月から平成30年3月まで（2年2か月）



(在宅歯科医療学寄附講座 杉本特任准教授提供資料)

【目 標】 地域包括ケアシステム推進のために2022年までに在宅療養支援歯科診療所数を15%超になるように将来地域でリーダーとなる在宅療養支援のできる歯科医を養成する。

【活動内容】

○ 教 育

〔歯学部5年生〕

1. 在宅歯科医療学講義

回	講義名	受講者数 (90人中)
1	超高齢社会の現状	86
2	在宅歯科医療における地域連携制度	90
3	在宅歯科医療における口腔健康管理	86
4	在宅医療における栄養管理	90
5	在宅高齢者に多い全身疾患	88
6	在宅高齢者の摂食・嚥下機能	90
7	在宅歯科医療における危機管理	88
8	在宅歯科医療における摂食・嚥下リハビリテーション	89
9	訪問診療と在宅歯科医療	88
10	在宅高齢者の心理と高次機能障害	90
11	在宅障害者の歯科医療	85
12	在宅高齢者の歯周病管理	88
13	在宅医療について	90

2. 臨地実習

- ・特別養護老人ホーム、老人保健施設、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションの見学
- ・食事支援方法・協力歯科医の治療見学、入所者と交流

(1グループ5～8人) 16回終了/16回中

〔歯学部6年生〕

1. 在宅歯科医療学講義

回	講義名	受講者数 (139人中)
1	地域包括ケア 1	125
2	在宅歯科診療にもとめられるもの	126
3	合流生の補講 1	21 (29)
4	合流生の補講 2	21 (29)
5	超高齢社会の現状、多職種連携、介護保険	132
6	高齢者の栄養、認知症	130
7	摂食嚥下障害の基礎と臨床	130

〔歯学部3年生〕

愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科2年生

回	講義名	受講者数 (142人中)
1	認知症の人とのコミュニケーション	134

## <臨床研修医>

### 1. 在宅歯科医療学講義

回数	講義名	受講者数 (60人中)
1	在宅歯科診療について	60
2	認知症の基礎知識と歯科治療	60
3	要介護者の摂食嚥下障害	60

### 2. 在宅歯科医療学実習

1	口腔ケア実習（相互実習）	60
---	--------------	----

### 3. 臨地実習

特別養護老人ホーム

食事支援方法の見学、協力歯科医の治療介補、入所者と交流

（1グループ2人から3人）24回終了/24回中

## <歯科衛生士>

愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科2年生

回	講義名	受講者数 (104人中)
1	これからの在宅歯科診療について	104
2	認知症	104

## <その他>

I P E（歯牙部5年生と薬学部5年生の合同講義、グループワーク 計220名）

## ○学会発表

日本口腔ケア学会 ポスター発表

日本老年歯科医学会 ポスター発表

日本在宅医療学会 シンポジウム

日本補綴歯科学会東海支部 市民フォーラム

## ○講演会

愛知県歯科医師連盟デンタルミーティング

愛知学院大学歯学部教職員のための講演会（第3回）

ゆうあいの里 職員研修会

刈谷市歯科医師会研修会

愛知県歯科医師会在宅歯科診療推進研修会

愛知学院大学歯学部教職員のための講演会（第4回）

愛知学院大学附属病院 歯科衛生士研修会

愛知県歯科医師会介護職員口腔ケア研修

江南保健所「高齢者の低栄養防止に果たす歯と口の役割」

愛知学院大学歯学部同窓会愛知県支部(平成30年2月予定)

岐阜県土岐市歯科医師会(平成30年2月予定)

瀬戸保健所「多職種連携における歯科の役割」(平成30年3月予定)

## ○研 究

1) 在宅歯科医療学教育システム

2) I C T 歯科教育用ソフト開発